

進 歩 賞

進歩賞は、表面に関する学理および技術の進歩に貢献する 35 歳以下の若手会員の業績を表彰するものである。特に独創性に富み将来の発展が期待される研究成果、新商品、特許などを業績の対象とし、また過去 5 年間に本誌に掲載された論文および本会講演大会にて発表された内容を含むものとしている。本選考委員会においては、規定に従い、本会会員より推薦された候補者について慎重に審議した。その結果、委員の総意として、以下の会員について、本章の授与に値すると判断した。

進歩賞選考委員会
選考委員長 八重真治

中島 隆氏

(日本パーカラライジング(株)総合技術研究所 第一研究センター 研究主任)

業績：電解プラズマ酸化処理における処理液中の金属酸素酸塩の影響

(掲載：第 65 巻第 6 号 283-288 頁 他)



中島氏は、電解プラズマ酸化処理において、電解処理液組成と皮膜組成・形態の関係について詳細な検討を実験的に行っており、得られた知見は先進性に優れたものであり、実用上においても本技術分野への発展に大きく寄与する従来にない新しい知見を示した。これらの業績は表面技術の発展に寄与するものと考え、進歩賞に相応しいと判断した。